観光は平和へのパスポート
国連世界観光年宣言

JHSたより

令和元年12月5日（15,000部） 発行
2019.12 Vol.67

学校法人日本ホテル学院
発行所／専門学校日本ホテルスクール
一般財団法人 日本ホテル教育センター
〒164-0003東京都中野区東中野3丁目15番14号 TEL.03-3360-8231(代)
https://www.jhs.ac.jp http://www.jec-jp.org/ FAX.03-3360-8584

南アフリカの執事学校を最優秀で卒業
得意の英語を活かし、公認バトラーの資格を取得
本校から初の公認バトラー誕生です

バトラー認定書を手に
中央：高島まりやさん

去る11月8日、高島まりやさんが、得意の英語を活かし、南アフリカのSABA(執事学校)を最優秀で卒業し、見事にバトラー(執事)の資格を取得しました。

彼女は、夜間部国際ホテル学科に在学し、仕事と勉強」の両立した学生生活を送り、卒業後、海外ホテル研修生制度を活用して、スイスのアンバサダー・スパ&ホテルで1年間修行、帰国後の2年間、自身でハウスクリーニングの事業を展開していました。中学時代からテレビドラマのバトラーの仕事に興味を抱き、高校時代にザ・リッツ・カールトン大阪を訪れた時から、その優雅さに憧れ、ホテルの仕事に意を固め、本校に入学、もともと英語が好きなこともあり、夢の実現に向けて、更にバトラーの勉強をしたいと考えていたという。

イギリス、オーストラリア、オランダをはじめ世界にバトラー養成学校がある中で、南アフリカのSABAの教育方針に共感し、「2か月のバトラー育成コース」への入学を選択、主に「豪邸勤務」を想定し、バトラーの歴史と現代バトラー業務の基本から、テーブルセッティング、料飲サービス、料飲器具や高級家具の手入れ、清掃など、必要な幅広い知識と技術を学びました。

SABA卒業後の進路は、ホテル、豪華客船や会社秘書などさまざま。今後はドバイなど中東のビジネスで成功した大富豪、世界有数の資産家、地位や名誉のあるVIPなどのもとで活躍したいと語っています。

「英語を活かして、好きなことが全部できるのはバトラーの仕事。世界中で活躍でき、世界を知ることができる。私にとってぴったりの仕事」と、抱負を語ってくれました。

本校から、初の公認バトラーの誕生です。どうぞ夢を実現させてください。

スコールアジア大会でYSCJ
4度目のアジア地区最優賞を受賞

校長　石塚　勉

YSCJとは、ヤング・スコール・クラブ・ジャパン(Young Skal Club Japan)の略称です。

世界の観光業界幹部の人達が、「友情」を基本に、人的なネットワークを構築するために結成した観光業界最大の国際組織で、若い世代の人達にも広げています。本校もこの動きに呼応して、2015年に英語専攻科の学生78名を中心にYSCを作り、5年が経過しました。

今年、インドのバンガロールで開催された第48回スコールアジア大会で、スコールクラブ東京所属のYSCJが、4度目のアジア地区最優秀賞(Skal Asian Area Best Young Skal Club 2019)を受賞しました。併せて、YS会員増・最多賞(Highest Growth by Numbers of members in Young Skal)も受賞しました。2015マニラ、2016シンガポール、2018マカオに続き今回が4度目。

アジア地区だけでも17カ国、40クラブ、会員2500名の組織、本校にとって大変な栄誉となりました。

YSCJの活動は、まだ少数ではありますが、国内の弁論大会やゲストスピーカーによる講義に加え、カナダ、オーストラリア、フィリピン、イタリアでのスコールクラブ会員との交流会など大きな動きをしています。こうした機会を通じて、世界に目を向け、少しでもグローバルな具体的行動ができることを期待しています。

南アフリカSABAで受講中の高島まりやさん

スコールアジア大会で受賞の石塚勉校長

ホテル総支配人、企業トップ、業界の方々を迎え、第28回弁論大会を開催
～日本語部門最優秀賞：趙孝陳さん　　英語部門最優秀賞：久保瑛梨佳さん～

ホテル・ブライダル業界関係のトップの方々17名を審査員に迎え、第28回弁論大会がなかのゼロホールにて開催されました。出場者の予選参加者32人の中から選ばれた日本語部門5名、英語部門5名の弁士が、「業界発展のために私たちが提案すること」「業界への新しい発想や理想について」をテーマに熱弁を繰り広げました。

日本語部門最優秀賞は、留学生の趙孝陳さん「今、何時ですか。」、英語部門は、久保瑛梨佳さん「The Stereotype of Appearance（身だしなみの固定概念）」というテーマで、女性の見出しなみについて斬新な意見を伝えてもらいました。

趙さんには、石塚校長より楯と副賞としてザ・リッツ・カールトン東京より朝食付き宿泊券、株式会社プリンスホテル　グランドプリンスホテル高輪 総支配人 山本誠氏よりディナー招待券が贈られました。久保さんには、石塚校長より楯とザ・ペニンシュラ東京 総支配人 マーク チューン氏より朝食付き宿泊券、パーク ハイアット 東京 総支配人エルヴェ マゼラ氏より食事券が贈られました。

英語部門最優秀賞：左よりエルヴェ マゼラ氏、マーク チューン氏、久保瑛梨佳さん、石塚勉校長

弁論を終えた弁士10名

弁士紹介（発表順）

■日本語部門

1年	今井 香歩	私達の思い
2年	酒井 彩希	あなたにとって、わたしにとっての「サービス」
2年	杉山 瑠那	二人でしかできないこと
2年	趙 孝陳	今、何時ですか
2年	林 美穂	私のホテル革命

■英語部門

2年	ﾎﾌﾟｪﾃｲﾛｰﾗﾋｱ ﾎﾟｾﾌｨﾘﾅ	Reflection on Self-Love and Confidence
1年	藤島 千紘	A Little Courager
1年	向 鞠華	Jigsaw Puzzle
2年	目黒 梨緒	Why Dl We Learn Services
1年	久保 瑛梨佳	The Stereotype of Appearance

ゲスト審査員の皆様【順不同】

Ross Cooper 様	アンダーズ東京総支配人
江口 英一 様	株式会社観光経済新聞社企画推進部長
Herve Mazella 様	パークハイアット東京総支配人
田中 勝 様	グローバル・ホスピタリティ研究所代表
Fabien Clerc 様	スイス大使館一等書記官
小林 信次 様	松蔭大学観光メディア文化学部教授
Mark Choon 様	ザ・ペニンシュラ東京総支配人
由井 賢治 様	アマン東京副総支配人
阿部 貞三 様	株式会社柴田書店取締役
野田 兼義 様	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会専務理事
山本 誠 様	グランドプリンスホテル高輪総支配人
内山 渡教 様	ハイアットセントリック銀座東京総支配人
Igor Apraiz 様	マンダリンオリエンタル東京ホテルマネージャー
佐藤 進 様	ホテルメトロポリタン総支配人
Ramesh Ganeson 様	レゴランドジャパンホテルホテルディレクター
岸琢 也 様	フォーシーズンズホテル丸の内東京総支配人
安部 トシ子 様	一般社団法人ワールドワイドパーティプランナー協会代表理事

日本語部門努力賞の学生
左よりロスクーパー氏、佐藤進様、酒井彩希さん、林美穂さん、今井香歩さん、由井賢治様、石塚勉校長

来賓・学校関係者の皆様と弁士

日本語部門・英語部門に出場した弁士は本選出場決定後、1ヶ月間先生方に個別指導をしていただき11月6日の本番を迎えました。どの弁士も素晴らしい発表を行い、誰が最優秀賞を受賞してもおかしくない弁論大会でした。大勢の前で発表することは簡単なことではありませんが、出場した弁士は練習の成果を十二分に発揮していました。また、パークハイアット東京総支配人エルヴェ マゼラ様より学生たちに「自身に限界を設けず成長して欲しい」というメッセージをいただきました。

ホテスクST杯（Smart Telephone Contest）入賞者によるデモンストレーションを披露

写真左から：桜井美颯さん、田島千聖さん、大河内絢音さん、中島 京香さん

デモンストレーション風景

弁論大会にて、校内の「ホテスクST杯」決勝戦にて入賞をした2組がデモンストレーションを披露しました。スマートテレフォンコンテストは、電話応対力向上のきっかけ作りとして、本年よりスタートしたコンテストです。

1年生の中島京香さんと大河内絢音さんによる日本語での電話応対に続き、2年生の桜井美颯さんと田島千聖さんが、英語での電話応対に挑戦しました。

また、10月14日に開催した、第一回「ホテスクST杯」決勝戦に出場した6名は、11月22日に開催される、日本電信電話ユーザー協会様より「2019年度電話応対コンクール全国大会」にご招待いただき、電話応対のプロが集まる大会を見学しました。

電話応対技能を競う！第１回　「ホテスクST杯2019」を実施
～声での高い接客力を競う「Smart Telephone Contest」～

今年度より、ホテルサービスにおける電話応対力向上のきっかけ作りとして、新たな校内コンテストがスタートしました。その名も「ホテスクST杯」Smart Telephone Contestです。3分間という限られた時間の中で、お客様からの要望やクレームを解決に導く、その対応力を競います。お客様へ与える「最初の印象」「基本対応スキル」「ミュニケーションスキル」「情報・サービスの提供」「最後の印象」「顧客満足」を評価し、総合点で競われます。

今回、校内予選を突破し決勝へ進出したのは、2年生2ペアと、１年生１ペア。 課題として設定されたベルスタッフとゲストとの会話を現場のリアリティそのままに披露しました。課題は同じでありながら、その表現方法やホスピタリティの軸は様々。各ペアが披露する圧巻のパフォーマンスからは、努力の成果が惜しみなく伝わってきます。そのクオリティの高さに圧倒されているうち、競技時間の3分間はあっと言う間に過ぎていきました。

電話応対技能を競う！
ホテスクST杯2019決勝戦

審査風景

決勝進出を果たした3組の学生

優勝：昼間部英語専攻科２年 桜井 美颯さん（右）と田島 千聖さん（中央）

外国人留学生と「夏祭り」
～日本の文化に触れる～

在学中に少しでも日本の文化に触れてほしいという願いから、留学生を対象に夏祭りを開催致しました。

流しそうめん、かき氷、ヨーヨー釣りなど、初めての体験に大盛り上がりでした。また、国際交流も兼ねて、夜間部2年生の2名にお手伝いに加わっていただきました。

流しそうめん

ヨーヨー釣り

第１回就職ガイダンスを実施
～昼間部1年生対象～

ファッションアドバイザーから学ぶ
美しいネクタイの結び方

プロから就活用のメイク、ヘアを伝授

早期の段階から就職を意識できるよう、1学年後期に3回に分け「就職ガイダンス」を実施しています。第1回目となる今回は、「スーツ着こなし講座」「ヘアメイク講座」など、基本的な身だしなみを学びました。

高等教育の修学支援新制度「高等教育無償化」対象機関として承認される

本校が、高等教育の修学支援新制度「高等教育無償化：大学・高等専門学校・専門学校」の対象機関として承認されました。

文部科学省では、しっかりとした進路への意識や進学意欲があれば、家庭の経済状況に関わらず、大学、短期大学、高等専門学校、専門学校に進学できるチャンスを確保できるよう、高等教育の修学支援新制度の準備を進めています。国の高等教育の修学支援新制度は、授業料等の減免（授業料と入学金の免除または減額）と給付型奨学金（返還が不要な奨学金）の2つの支援があります。新しい支援制度は、高等教育機関で安心して学んでいただくものとして、2020年4月から開始します。

今回の新しい支援制度では、世帯年収の基準を満たしていれば、成績だけで判断せず、しっかりとした「学ぶ意欲」があれば支援を受けることができます。

詳細は、文部科学省「高等教育の修学支援新制度について」をご覧ください。
http://www.mext.go.jp/kyufu/

トピックス

HOTELIER（集英社）コミック原作者「城アラキ先生」が来校

6月にHOTELIER第1巻の出版記念としてエピソード募集を本校が担当させていただきましたが、サイン本授与式に原作者の城アラキ先生が来校されました。サイン本は当選された方々に送られました。

また、飲食に造詣が深い城アラキ先生に、教職員と在校生がフルーツカッテング、フランベサービス、カクテルサービスなどを披露しました。

城アラキ先生・小野寺様を囲み、実技披露
学生と教職員の記念写真

YSCJに入会した英語専攻科1年生と来賓の皆様
前列左から：石塚校長、奥氏、菅原さん、Clerc会長、井上氏、田中氏

YSCJ　入会式・ピン授与式を挙行
～英語専攻科1年生　国際観光組織会員へ～

国際観光機関スコールクラブの青年を対象とした、「ヤングスコールクラブ」への入会式を挙行、英語専攻科1年生33名が新たに会員となりました。

この入会式はスコールクラブ東京主催の入会式で、英語専攻科の学生にとっては、国際的視野を広げるきっかけとなるとなる式典となっています。式典には、Skal International 東京からFabien Clerc会長をはじめとして、井上嘉世子前会長、幹部の田中映子氏、奥健氏の4名の来賓がの入会をお祝いしてくださいました。

国際機関として新しい時代を担う人材になる学生達には、今後の活躍が大いに期待されます。

ヤング・スコール・クラブ（YSC）

スコールクラブでは，次世代を担う人達の育成を視野に、「ヤングスコール」、「スチューデントスコール」という新しい会員のカテゴリーを作り、若い人達の参加を呼びかけています。既にローマでは約 60 人の学生が会員となり、次世代への準備を開始、約 400 のクラブもこうした方向で動いています。

総支配人による特別講義を実施
～「ザ・カハラ・ホテル＆リゾート 横浜」マイケル・カッシュ氏～

2020年6月に開業予定の「ザ・カハラ・ホテル＆リゾート 横浜」の総支配人マイケル・カッシュ氏、総支配人付マネージャーの奥脇あゆみ氏、そして料飲部長の本多守氏（本校卒業生）が来校。“Nothing is impossible(不可能なことは無い)”という力強いメッセージとともに、英語専攻科の学生にホテルマンとしてのキャリア形成について、お話をいただきました

マイケル・カッシュ総支配人による講義風景

ザ・カハラ・ホテル＆リゾート横浜の皆様と
後列中央マイケル・カッシュ氏

クラブ活動紹介

フットサル同好会

練習後に
シャングリ・ラ・ホテル東京の皆さんと

産学交流を目的として「シャングリ・ラ ホテル東京」のフットサルチームと合同練習を、お台場の【大江戸温泉物語FUTSAL DAIBA】にて行い、約30名が参加しました。

始めは緊張した様子でホテルのスタッフの方となかなか話しが出来ませんでしたが、スタッフの方々から積極的に学生達に話しかけて頂き、就職活動の仕方や、アルバイトの話など、普段の同好会活動では得られない貴重な体験をさせて頂きました。

今後もフットサル同好会では、普段の活動のほか、企業の方や卒業生などと積極的にコミュニケーションを取れる場所を在校生に提供していきたいと思います。

フットサル同好会「JECICA」は2016年からスタートした同好会です。3月に卒業した学生を中心に結成し、その意思を引き継ぐ在校生で楽しく体を動かしています。フットサルは男女共に手軽に楽しめるスポーツの1つです。
顧問：吉岡 康子先生

ホテル＆ブライダル研究会

8月6日にホテル雅叙園東京で開催された「GOOD WEDDING AWARD 2019」（GWA）最終審査会を見学しました。

GWAとは、ウエディングプランナーを対象とした、「いい結婚式」のプランニングコンテストです。『「いい結婚式」をもっともっと世の中に。』をコンセプトに、プランナーが実際に担当した新郎新婦とのエピソードで結婚式のアイデアやプランニングスキルだけでなく、日々どのように仕事と向き合い、どのように顧客を理解し実際に形にして実現したのか、プロデュース方法やその理由を審査対象としています。

見学会に参加した学生

～ＪＨＳ同窓会便り～

第52回「JHS同窓大学」を開催
～加賀屋（石川県和倉温泉）にて～

2019年度　第52回同窓大学・北陸を加賀屋（石川県和倉温泉）にて開催しました。

加賀屋は、最大1500名に対応するコンベンションホールや450名収容可能な宴会場を備え、MICEや宴会の誘致に力を入れています。また、エンターテーメントも充実しており、宿泊客からも好評を得ています。

勉強会では、JHS同窓会九州支部長の金森啓示 氏（1977年度卒）が学長を務め、教授に加賀屋　客室支配人　森藤公二 氏をお迎えして、「加賀屋のおもてなしと金沢の観光事情」についてお話を伺いました。

また、従業員の皆様のご協力もあり、大変快適に過ごすことができました。

左：金森公二九州支部長
右：加賀屋で働く宮澤貴史氏（1996年卒）

客室支配人　森藤 公二氏の講話

同窓大学参加者と従業員の皆様

翌日は、福井県福井市に場所を移して、一般社団法人全日本シティホテル連盟会長・ホテルリバージュアケボノ　代表取締役社長　清水嗣能 様と会食を共にし、福井県の観光事情についてお話を伺いました。

今回の同窓大学でも、多くのことを学び、そして卒業生並びにホテル業界で働く皆様と懇親を深めることができました。

本校は卒業生同士のつながりも強く、同窓会も活発です。色々なイベントを企画していますので、Facebookや、同窓会ページもご覧下さい。

■同窓大学に関するお問い合わせ
同窓会事務局：TEL:03-3360-8231　FAX:03-3360-8584

参加者の皆様

今回、ソムリエクラブでは日本の食文化やサービスを知る機会を設けました。レストランの女将は海外経験も豊富な三島美樹恵さん（2002年卒）、飲料はソムリエクラブメンバーの長谷川大地さん（2007年卒）が担当しました。

今後、同窓会活動は20代の若い人たちが出席しやすい環境を作っていく方針です。今回、金子洋介さんが（2013年卒）メンバー推薦で初参加しました。

第28回ＪＨＳソムリエクラブ開催
～Tempura & Sushi Anにて～

第28回JHSソムリエクラブを7月30日、XEX愛宕山グリーンヒルズ42階Tempura & Sushi Anで開催しました。

JHSソムリエクラブは、ホテル、旅館、飲食店などの料飲関係に勤務する日本ホテルスクール卒業生の資質向上と、互いの交流を深める事を目的としています。

女将　三島さんの飲料サービス

左：畑山ソムリエクラブ会長
右：金子洋介さん

■ソムリエクラブに関するお問い合わせ
担当：川上　TEL:03-3360-8231　kawakami@jhs.ac.jp

ブライダル・ホテル業界で活躍する卒業生

ホテルニューオータニ博多

左：小川さん　右：太田さん

在学中の担任 井上正子先生（右）と

ホテルニューオータニ博多で2名の卒業生が活躍しています。小川未央さん（2016年卒）は、中国料理 大観苑で2年間レストランサービスを担当した後、現在は日本料理 千羽鶴にてレストランサービスとして活躍しています。また、太田和真さん（2019年卒）は、今年の7月からはブライダルコーディネーション（施行準備担当）として活躍しています。

プルマン東京田町

2018年10月1日に田町に開業した「プルマン東京田町」には、11名もの卒業生が宿泊、料飲部門、そしてセールス部門などで活躍しています。

プルマン東京田町で活躍中の卒業生と石塚校長（左）と塚本先生（右）

財団ニュース

スコールクラブ・ソウル　創立50周年
～日本、韓国、台湾の観光業界における交流促進～

スコールクラブ・ソウルの創立50周年記念式典が韓国のフォーシーズンスホテル・ソウルで8月30日に開催されました。東京、名古屋、大阪、台北から各クラブ会長が来賓として参加し、歴代の会長をはじめ、会員および関係者約130人が集い、過去50周年の歩みに思いを馳せました。

これまでソウルは、1977年、1987年、2009年の3回アジア大会、2012年に世界大会を主催し、スコールクラブ（＝観光業界人が組織する世界最大の民間組織）の発展に大きく貢献してきました。なお、本校からは、石塚勉校長が、日本会長の立場で出席しました。

スコールクラブ・ソウル創立50周年記念式典、日本、台湾からの来賓

各クラブ会長による乾杯のご発声
左から：ラドウー・セルニア会長（ソウル）、
ファビアン・クレール会長（東京）石塚勉会長（日本）、
ヒロ・リャオ会長（台北）、ヨンスク・リー会長（大阪）、尾頭嘉明会長（名古屋）

スコールクラブ

スコールクラブは、観光業界の幹部を主たる会員とし、会員相互の友情やネットワークを通じて国際的なビジネスを展開することを目的とした国際組織で、現在、90カ国に400クラブ、14000人の会員を有する世界最大の民間組織です。

日本旅館国際女将会
～香港・マカオで研修会～

日本旅館国際女将会は7月2日～5日の3泊4日で香港・マカオ研修会を実施しました。

マカオの巨大ＩＲ施設、ギャラクシーマカオを訪問し、ＩＲ施設と4ホテルの内部を視察。香港では、現地旅行会社を訪れ、会員旅館と日本の温泉旅館をＰＲしました。

GALAXYマカオ　施設見学
写真中央：日本旅館国際女将会会長　長坂正恵氏（下呂観光ホテル　しょうげつ）

香港日本人旅客手配業者協会にて意見交換

客室・パブリック清掃業務マニュアルのご紹介

客室整備清掃業務マニュアル
客室インスペクション業務マニュアル
パブリック整備清掃業務マニュアル

清掃業務の品質改善に！

1. 清掃方法にムラやムダがあり、お客様からのクレームが多い
2. 清掃業務の効率を高め、品質を向上させたい
3. 外国人等の清掃スタッフに分かり易く業務を教えるマニュアルがない
4. 清掃された客室やパブリックエリアのインスペクション方法や基準がわからない等

【価格】
■客室整備清掃業務マニュアル　¥70,000(税別)
■客室インスペクション業務マニュアル ¥30,000（税別）
■パブリック清掃業務マニュアル ¥50,000（税別）

【ご購入方法】
本財団ホームページよりご購入下さい。
https://www.jec-jp.org/text/manual.php

■マニュアルに関するお問合せ
一般財団法人日本ホテル教育センター
TEL：03-3367-5663　Fax：03-3362-5940
メール：support@jec-jp.org

図書資料室のご案内

観光業独自の専門資料室とするために、専門図書（洋書、和書）、政府刊行物、観光業界資料、専門月間誌、専門週刊誌を収集し、一般に公開しています。

同資料室には、ホテル・観光に関する書籍・資料・ビデオ・CD-ROMが約12,000冊常備されています。ご活用下さい。

■住所：〒164-0003 東京都中野区東中野3-15-14
専門学校日本ホテルスクール内
電話：03-3360-8231
■時間：9：30-17：00
（土曜日 15：00迄）
■休館日：お問合せ下さい。
■入館料：300円

※来館の際は身分証の提示をお願い致します。

編集責任者：石塚　勉
編 集 担 当：黒沢由美子
連　絡　先：03-3360-8231　kurosawa@jhs.ac.jp